



平成 26 年 2 月 26 日

各 位

会 社 名 日本海洋掘削株式会社
代表者名 代表取締役社長 市川 祐一郎
(コード番号：1606 東証第一部)
問合せ先 広報・IR室長 谷内 正彦
(TEL. 03-5847-5862)

「ちきゅう」による新規受注工事の解約について

当社は、平成 24 年 5 月にマレーシアの Petronnic Sdn. Bhd. (以下 PSB 社) が同国の石油開発会社である Keabangan Petroleum Operating Company (以下 KPOC 社) から受注した掘削工事案件について、独立行政法人海洋研究開発機構殿所有のドリルシップ「ちきゅう」を使用し、PSB 社に対して掘削業務サービスを提供することとしておりましたが(注)、今般、KPOC 社が早期解約条項を行使し本工事を解約したことに伴い、当社が PSB 社に提供する予定であった掘削業務サービス契約も解約されることとなりましたので、以下のとおりお知らせいたします。

なお、本件解約に伴い、KPOC 社より早期解約料約 7 百万ドルが支払われますが、当社はその一部を売り上げに計上いたします。

1. 解約の経緯・理由

KPOC 社が作業計画を変更したため。

2. 業績に与える影響

本掘削業務サービスの解約による売上高・利益への影響は今期業績予想に計上済みですので、今期の業績に与える影響はありません。

(注) 平成 24 年 5 月 30 日付の適時開示『「ちきゅう」による新規掘削工事案件の受注について』のとおりです。なお、作業開始予定時期は、当初平成 25 年 7 月頃とされておりましたが、その後当事者間の協議により平成 26 年 1 月以降に変更されておりました。

【本開示資料ご利用にあたっての留意点】

当資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、発表時点で入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となる可能性がありますので、ご注意願います。また、新たな情報、事象等に応じて、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りませんので、ご承知置き願います。

以上